

のぼり広報



特集

- ◆特集 登別市防災研修会報告
「こ存じてすか 登別の防災」
- ◆特集 冬を快適に過ごすために
市民リポート
「登校拒否問題について」
山本久美子リポーター
- ◆さらに
高校柔道選手権、インターハイ制覇
有柳志保さん

2/1
1996
No.544

地震による津波の心配はほとんどない。

しかし、釣りなどをしている場合、地震後は一応注意する必要がある。特に河口付近や護岸プロック付近などには、各自が近づかないように心掛けなければならない。

昭和50年代・60年代にかけては、毎年のように古い中小河川がはん濫し、土砂や流木が市内の低地に浸入した。ちょうどその時期は、市街化整備が始まったばかりで、都市基盤整備が市街化に追いつかず、もともと低地(湿地)だったところがよく浸水した。

最近では、防災施設や都市基盤の整備が進んでいる事に加え、大雨の発生が少なく、大きな水害は起こっていない。

防災対策を進める上で重要な事は、行政機関が、研究機関などと協力して自分たちの住む地域の特性にあった防災計画を作り、それを住民に知らせ、共に災害について考え、備えることだと思います。

「市の防災体制について」

◆気象警報・地震情報の伝達

災害時や防災体制の中で、最も大切だと言われているのは、情報の収集・伝達です。情報をすばやく集め、伝えることで災害に的確に対処し、被害の拡大を防ぐことができるからです。

災害の恐れがあるときなど、みなさんにいち早く情報を伝えるの



市役所 ☎ 05 2111
消防署 119番
警察署 110番

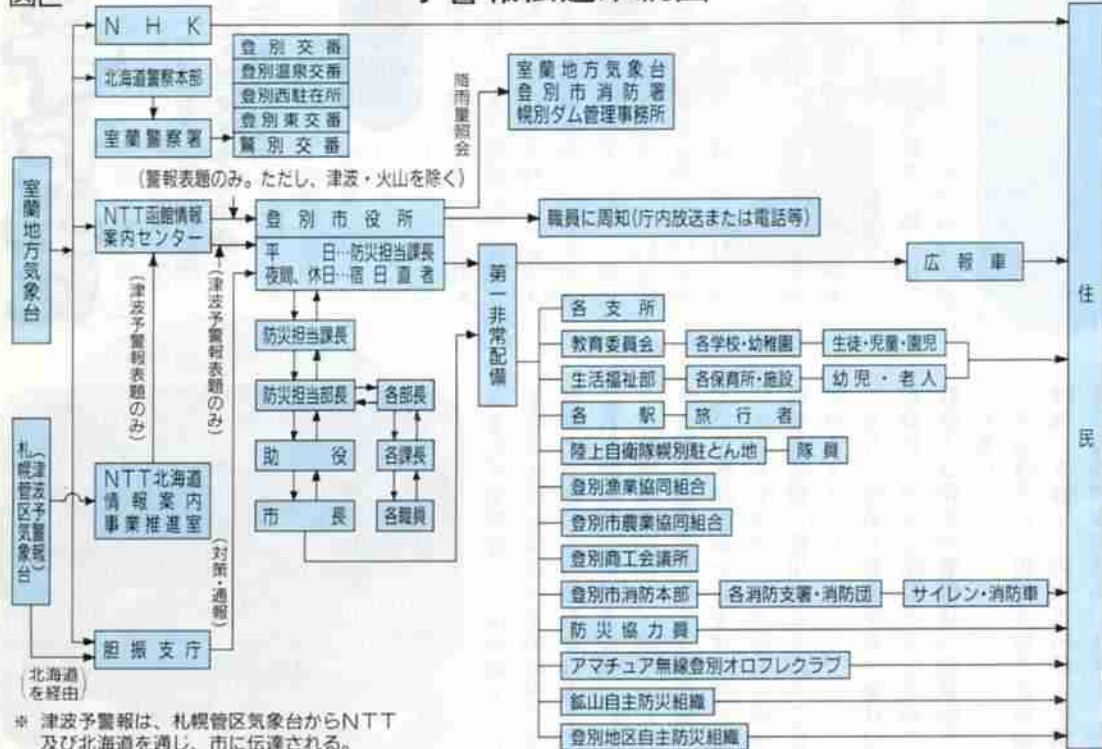
◆災害発見時の連絡先
みなさんが災害などの異常現象を発見した時は、

この図にあるように、市では大雨、洪水などの気象警報(津波は注意報)が発表された時や地震による大きな揺れを感じた時には、担当職員が登庁し、警戒体制を取ります。

はテレビ・ラジオです。大雨・洪水などの気象警報や地震情報を伝えますので、大雨が降っている時や地震を感じたときには、テレビやラジオの発表に注意しましょう。図2は、気象台からの気象警報の発表にともない、胆振支庁、市、室蘭警察署などが、現況や対策などの情報を伝達し、警戒体制を取り、災害発生の恐れがある場合は避難勧告などをみなさんに伝えるまでを示したものです。

予警報伝達系統図

図2



に電話するか、又は近所の防災協力の方に連絡してください。市ではただちに連絡網により初動体制を取り、災害に対処します。

◆自主防災組織
市では、自主防災組織の設立を

呼びかけています。初期消火や災害弱者の救護、災害時の各家庭への連絡網の確立など住民相互協力源となる組織です。詳しくは、総務課に問い合わせください。

「防災の心得(地震火災の場合)」

地震火災は、普段からの習慣と冷静で的確な行動を取ることで、火災の発生・拡大を防止し、被害を最小限におさえることができると言われていています。

次のことを習慣づけましょう。
外出時、就寝時にストーブ、湯沸かし器などを消し、電熱器具のスイッチを切る。地震の時は、小さな揺れでもガラスと感したら火を消す。外に逃げる時は、電気のブレーカーを切り、灯油やプロパンガスの元栓を閉める。
万一、何らかの原因で火災が発生した時には、消火器、水バケツなどで初期消火に努めましょう。

ただし、炎が天井に達しているような状況では、消火器などで消火することは困難ですので、避難するとともに、大声で隣近所の人に知らせて119番通報をしてもらいます。

消防署では、実際に消火器を使って火を消したり、グミ人形を使い人王呼吸法、心臓マッサージを学ぶ講習などを行っています。
市民のみなさんや町内会、事業所などから要望があれば出向きますので、万一のときに備えて、ぜひ一度、消防署警防課 ☎ 2551 に問い合わせください。

この記事や防災について、

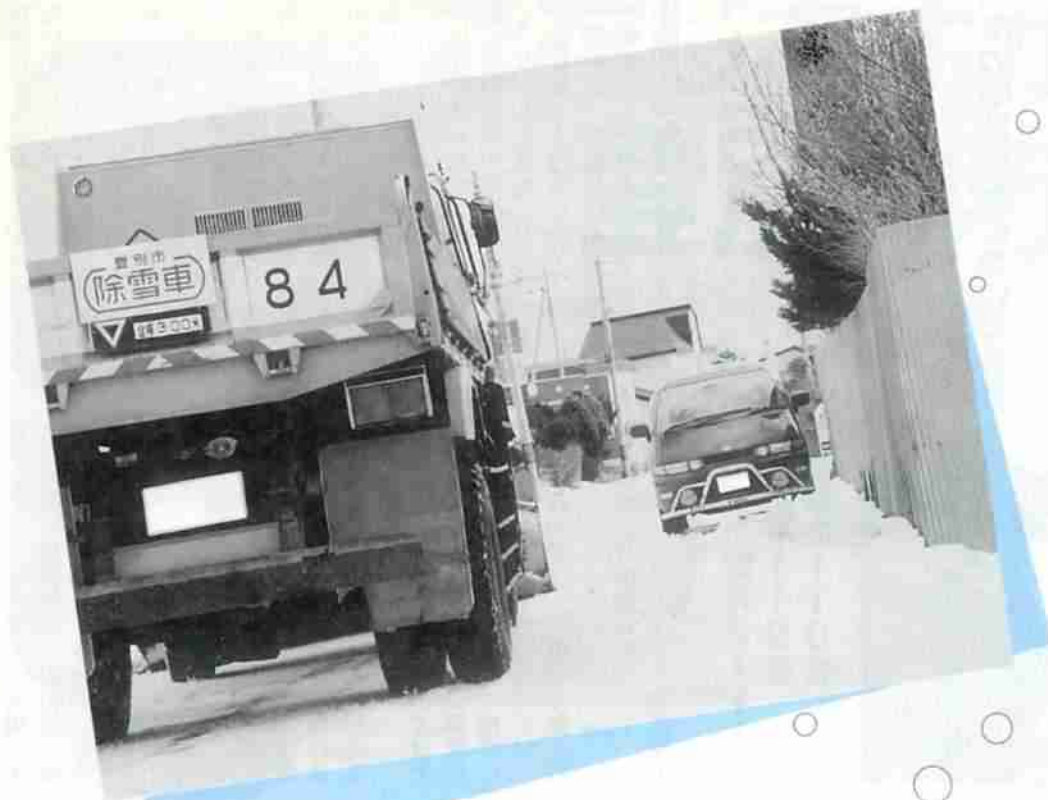
総務課総務係

☎ 05 1130

に問い合わせください。

特集 冬の快適に暮らすには

今年の冬は特に寒さが厳しく、雪も、ここ数年なかったほど多く降り積もっています。「北国、北海道」で生活する私たちには宿命とも言える冬の生活を少しでも快適にするためにはどうしたら良いか、考えてみましょう。



雪

市では、積雪がおおむね10センチを越えると、冬道の安全確保のため、除雪作業を行っています。1月中旬のある日、家を出ると外は一面真っ白でした。この日は朝から市と委託を受けている業者の除雪車がフル可動していると聞き、早速作業の様子を取材に行きました。

除雪作業に同行して、まず感じたのは路上駐車や車の放置が多いということでした。作業をしていた職員は「除雪作業の妨げになるばかりではなく、緊急車両が通行できなくなるので絶対にやめてほしい」とのことでした。

なるほど、入り組んだ道に車が1台あると、そこから先は除雪作業ができないのでそこから先の住民全員に迷惑をかけている。「今は車を保管する場所（車庫証明・軽自動車を除く）がなければ車は持てないはずなのにね」と係の方もこれにはお手上げの様子。



また、車庫などの前の路上に石や台などをスロープがわりとして置いてあるのをよく見かけるが、これも除雪作業の大きな妨げになり、除雪車の破損や、除雪車が作業走行中に障害物に当たると、乗っている作業員がケガをすることもあるといえます。どうしても台が必要ならば、使用後にそのつど片付けるようにしましょう。

また、歩道を低くする工事は自己負担できるといふことなので詳しくは市役所管理係へ相談してください。

そのほかに、市民の皆さんへお願いとして「除雪後の路上に雪を捨てたりする人もいますが、わだちの原因になります。除雪によって家の前などに寄せられた雪も、各家庭で処分して頂くなど、事故の無い冬の生活を過こすため、ご協力をお願いします」とのことでした。



水道

スタッドレスタイヤの普及に伴い、除雪後に融雪剤の散布など、作業はますます大変になったといえます。昼夜を問わず、作業に従事されている皆さんに頭がさがる思いがしました。

みなさんはお出掛けのときに必ず「水落とし」をしていますか？ おそらく「水落とし」は夜だけと考えている方がほとんどでしょう。市水道部給水係の職員の話によると、「水道凍結は冷え込みが厳しくなる夜に多いのは確かですが、実は気温がマイナス4度以下になると、日中でも水道凍結することがあります」とのことでした。

最近では、建物自体の保温機能が優れてきたことや、水道管などの機能自体が改良されてきたこともあり、昔ほどではないにしても、やはり毎年何件かは「SOS」の電話がかかるそうです。

「床下の換気口などを閉め、冷たい風を防ぐことなどである程度

の予防はできませんが、やはり水落としをするのは出掛けるときにカギを掛けるのと同じと考えて、めんどくさがらずに、こまめに水落としをすることですね」とのことでした。冬の外出時には「火の元、戸締まり、水落とし」という事ですね。ついうっかり、凍結させてしまつたときは、床上に出ている給水管にタオルなどを巻き付け、お湯（80度前後）をかけて15分間程度そのまましておくで軽い凍結なら水が出るようになるそうです。

交通安全

昨年暮れから、1月中旬にかけての猛烈な寒波は、各地に記録的な積雪や、凍結による被害をもたらし、市内でもスリップ事故などが多発しました。

最近、4WD（4輪駆動）や、ABS（アンチロック・ブレーキシステム）など、車の高性能・高機能が進んでいます。しかし、これらは、あくまでも「走る、曲がる、止まる」という車の基本的な動きを助ける付加機能にすぎません。アイスバーンでは乾燥路の7〜8倍も滑りやすく、一度滑り出したらほとんどコントロールが利かなくなりやす。何よりも過信

せず、無理をしないことが大切です。

現実の雪道、凍結した路面にはテクニクもテクノロジーも通用しない。予期せぬ出来事がひそんでいます。また、明るい雪晴れの道から暗いトンネルに入ると、目が慣れずに目の前が真っ暗になつてしまふ「ブラックホール現象」、逆に暗い所から明るい所に出てまぶしきで目がくらむ「ホワイトアウト現象」。思わぬ方向に車のタイヤが取られる「わだち」。シャーベット状態の路面ではタイヤの溝に雪が詰まった時に突然滑り出します。

元来、自動車は夏向きに作られています。雪道走るように作られているのは雪上車だけです。冬道走ること自体が具合の悪いことなので、とにかく冬道に合せて走るしか無いのです。冬



▲シャーベット状態の路面でも、凍結路面同様、注意が必要

道の特性を良く知り、急発進、急ハンドル、急ブレーキ、急加速など「急」のつく運転をしないように心掛け、ゆとりを持って運転するようにしましょう。

子どもも冬の事故から守る



▲「お母さんにも『道路の近くで遊ばないように』と言われていたよ」と言われていたよ。公園で友だちと楽しく遊ぶ島田和樹君(右)

屋根から下がるツララや、池や川の上にはつた氷など、子どもたちは何でも遊びの道具にしてしまいます。落雪や、水難事故から子どもたちを守るために、家の周りに危険な所はないかチェックしましょう。また、家庭でも雪山の陰からの飛び出しや、車道近くでのソリやミニスキー遊びなどをしないように注意し、危険な所で遊んでいる子どもたちを見かけたら声をかけるようにしましょう。

冬の催し

第25回 登別温泉 湯まつり

2月3日(土) 節分
13時〜15時 カルス温泉の湯治客を訪問し、湯鬼神かぐらを披露します。

18時〜20時 大勢の鬼たちが温泉街にくり出し、観光客や市民のみなさんの今年1年の厄払いを行います。

20時〜20時40分 まつり広場(登別パラダイス前)で、湯まつりの主役・湯鬼神かぐら、厄払い豆まき、郷土芸能子宝もちつき舞などをを行います。

2月4日(日) 立春
12時〜15時 市民のみなさん千名を温泉入浴招待(事前に申し込みが必要)



18時〜20時 湯鬼神が、温泉街の各旅館・ホテルを廻って厄払いを行います。

20時〜20時40分 まつり広場(登別パラダイス前)で、湯まつりの主役・湯鬼神かぐら、厄払い豆まき、郷土芸能子宝もちつき舞などをを行います。

20時40分〜21時 まつり広場で、下帯姿の若者による勇壮な湯かけ合戦がくり広げられます。

▽問い合わせ 登別観光協会 (☎013311)

第7回 ふるさと 冬まつり



▽日時 2月10日(土) 11時〜14時

▽場所 川上公園

▽内容 歩くスキー体験、ジャンプすべり台、雪像づくり、たこあけ、竹スキー、せんべい焼き、実演コーナー、焼いて食べてコーナーなど

▽問い合わせ 社会教育課 (☎1100)

分別できているかな？

ごみを出すときは、分別の徹底とリサイクルに心がけましょう！

燃やせるごみ



料理くず、木くず、紙くすなど
出し方

- 台所のごみは、よく水を切って
- 木くず類は、長さ50cm重さ10kg程度に
- ※なお料理くすなどの生ごみは、たい肥化して花や家庭菜園になるべく使いましょう。

ペットボトル、スプレー缶、紙おむつ、革製品、ゴム製品、ガラス、陶器、発泡スチロール、ビニール、小型電気製品、布団や衣類、プラスチック製品など
出し方

燃やせないごみ

- スプレー缶は、必ずガスを抜いてから
- ペットボトルなどの容器類は、中をすすいでから
- 刃物や割れた陶器・ガラス類はきちんとこん包して
- じゅうたんなどは、収集車に積める大きさに切るか、たたんで分解できるものは、バラにして束ねて
- 乾電池・水銀体温計は透明な袋に入れ、他のごみと区別して、燃やせないごみの日に



～ごみステーションに出しても収集できないごみ～

排出禁止物

オートバイ、スクーター、車、ピアノ、劇物・農業などの容器、プロパンガス、バッテリー、ホームタンク、タイヤ、ドラム缶、冷蔵庫、消火器、廃油など

- 有害性、感染性、危険性、引火性のあるもの
- 著しく悪臭を発生するもの
- 長さが1.5mを超えるもの
- 容積が200ℓを超えるもの
- 重さが100kgを超えるもの
- 収集、運搬に支障のあるもの
- ※これらのものは、販売店、専門の業者または下記の許可業者に相談してください。



一時的に多量に出るごみ

出るごみ

引っ越し、物置の片付けなどで、一時的に出るごみの量が200ℓ以上（ごみ袋6袋分）の場合は、自分で直接市の処理施設に搬入するか、左記の許可業者に相談してください。

事業系のごみ

商店、事業所などの事業活動によって出るごみは、自分で直接市の処理施設に搬入するか、左記の許可業者に相談してください。

許可業者

登別クリーンサービス(株)

☎0870

三協資源(株)

☎9681

(有)登和清掃

☎0200

小林興業(有)

☎1222

なぜ？燃えるのに「燃やせないごみ」？

ビニールやプラスチック類は燃えますが、燃やすと高温を発生し、焼却炉を傷めたり、有害物質を発生する恐れがありますので当市は「燃やせないごみ」としています。

登別市推奨、半透明ごみ袋のごみ出し方

半透明ごみ袋は、ごみの分別、減量化、リサイクルの推進および収集作業員の労働災害防止を目的に、現在市内32店舗で販売しています。

趣旨をご理解のうえ、このごみ袋を使用されますようお願いいたします。

不法投棄は法律で罰せられます

引っ越しの際に出たごみや建築廃材、古タイヤ、コンクリートなどの不法投棄が増えています。

野山や環境を破壊する不法投棄は法律で厳しく罰せられます。

市の清掃工場・最終処分場は、土曜日・日曜日・祝日も開設していますので正しいごみ処理に努めましょう。

ごみに関するお問い合わせは、

環境衛生課

☎(05)2010001

所得税の確定申告

市・道民税の申告を忘れずに

《所得税の確定申告》

平成7年分の所得税の確定申告は、2月16日(金)から3月15日(金)までとなっています。確定申告が必要な方は、直接、税務署(室蘭市入江町1番地13)へ申告するか、税務署の出張納税相談日に登別市鉄南ふれあいセンター(幌別町3丁目17番地4)で申告してください。

なお、事前に税務署から通知のあった方については、指定の日時に会場においてください。

また、例年期限間近になりますと、税務署の窓口が大変込み合うことが考えられますので申告される方は早めの申告をお願いします。

税務署出張納税相談日程

月日	会場	時間
2月21日	鉄南	9:30~12:00
2月22日	ふれあい	13:00~16:00
2月23日	センター	

確定申告が必要な方

- 営業などの収入、その他の事業収入や不動産収入のあった方
- 土地や建物を買った方

● 一時所得、雑所得などがあつた方

● サラリーマンの場合で次のいずれかに該当する方

- 平成7年分の給与の収入金額が2千万円を超える方
- 給与を2カ所以上から受けている方

● 給与所得や退職所得以外の所得金額が20万円を超える方

※ 税務署から確定申告書の送付があった場合は持参してください

還付申告

1. サラリーマンで次のような方は、申告することにより源泉徴収された所得税が還付される場合があります。

- ① 年の途中で退職し、年末調整を受けていない方
- ② 医療費控除を受ける方(所得の5%か10万円以上の医療費を支払った場合、その超えた分が対象)
- ③ 住宅取得等特別控除を受ける方

- ④ 国や地方公共団体などに1万円以上寄付をした方
- 2. 年金受給者の方は申告すること

とにより源泉徴収された所得税が還付されることがあります。

※ 還付申告の受付は始まっていますので、必要な書類を整理して早めに申告してください。

還付申告は市税務課窓口でも受付をしています。

▽ 問い合わせ 室蘭税務署 (☎0155-4151)

《市・道民税の申告》

市では、2月16日(金)から3月15日(金)まで税務課市民税係及び下表(市・道民税申告相談日程表)の各会場で申告相談と受付を行います。

市・道民税の

申告が必要な方

平成8年1月1日現在、登別市に住んでいる方、又は住んでいた方で、前年(平成7年1月から12月)に収入があつた方です。

ただし、次に該当する方は、原則として申告の必要はありません。

- ① 所得税の確定申告をした方
- ② 勤務先で年末調整が済んだ方
- ③ 収入が公的年金だけで、次に該当する方

● 昭和6年1月2日以前に生まれた方で、年金総額が26万6千600円以下の方

● 昭和6年1月3日以後に生まれた方で、年金総額が10万円以下の方

④ 収入がなく、扶養家族になつている方
なお、申告しないと児童手当、

保育所の入所、就学援助、公営住宅の入居、金融機関などに提出する各種申請に必要な所得・課税証明書の発行ができなくなります。忘れずに申告してください。

市・道民税申告相談日程表

月日	会場	時間
2月26日	登別公民館	9:30~12:00 13:00~16:30
2月27日	登別公民館	
2月28日	登別観光協会	
2月29日	登別公民館	
3月1日	登別公民館	
3月4日	市民会館	
3月7日	市民会館	
3月8日	鷺別公民館	

▽ 問い合わせ

税務課市民税係

(☎05-1155)

所得税、市・道民税の申告に必要なもの

- ① 平成7年中の収入金額を証明する書類
 - 給与所得の源泉徴収票(原本)
 - 公的年金等の源泉徴収票(原本)
 - 報酬、料金などの受給額を証明する書類
 - 事業収入や不動産収入などのある方は、収入・支出の帳簿や領収書
- ② 平成7年中の社会保険料など支払いを証明する書類
 - 国民健康保険料、国民年金保険料の領収書(平成6年度・平成7年度分など)
 - 生命保険料控除証明書
 - 損害保険料控除証明書
- ③ 配偶者に収入がある方はその収入を証明する書類
- ④ 医療費控除を受ける方
 - 領収書又は証明書(医療費明細書に必要事項を記入し持参してください)
- ⑤ 住宅取得等特別控除を受ける方
 - 登記簿謄本(写)
 - 工事請負契約書(写)又は売買契約書(写)
 - 住民票
 - 借入金残高証明書など
- ⑥ 朱肉を使う印鑑
- ⑦ 所得税の還付を受ける方
 - 本人銀行名と口座番号

子どものいじめ、登校拒否問題について!!



市民リポーター

山本久美子さん
新川町・33歳

★

ここ数年急激に、登校拒否やいじめ問題が目につき始め、地域や行政、マスコミまでもが解決策を検討している中、ますます増加し、いじめによる自殺も後を断ちませません。

自分に子どもがいけないころは、まだ他人事に思っていました。今、人の親になってはじめて、親としての心の痛みが実感できるようになりました。

私の学校時代のころも(と言っても20数年前のことですが)いじめや登校拒否はありました。私自身、いじめられたこともあり、逆にいじめの側に立ったこともありました。それでも、今のようにならぬことを願っています。

私の息子はまだ2歳なので、実際に就学中のお子さんのいる近所の方々にいじめや登校拒否について、お話を聞かせていただきました。それによると、「家庭内で解決しても、親からは学校内の生活が見えにくいので、先生の管理がとても重要である」、「日頃から先生と生徒との信頼関係がしっかりしているクラスは問題が起りにくい」、「先生に相談すればよいのはわかるけれど、子どもにとっては厚い壁で、なかなか相談しにくい」と、話を聞けば聞くほど家庭でどれだけ頑張っても先生との協力なしでは解決しないようで、日頃の先生と保護者との信頼関係

が欠かせないのではないかと感じました。

親として社会人として、子どもたちをいい方向に導いてあげることはできないのだろうか?そんな疑問を感じていたとき、登別市もその対応のための機関を設けていることを新聞報道で知り、さっそく訪ねてみることにしました。

◆ ◆ ◆

登別市民会館2階にある「教育相談室」では、今年度相談員を増員し、相談に随時応じています。来室相談、電話相談のどちらでもよく、登校拒否やいじめの相談だけでなく、乳幼児の子育てに関する悩みなどの相談も受けているとのことでした。



相談室(右入口)は呼び鈴を押して入室する。プライバシーは完全に守られる。

生涯教育推進室、生涯学習アドバイザー3年目の斎藤亨参与にお話を聞きました。

「登校拒否の子に共通する性格は「いちがいいには言えませんが、生真面目な子、神経質で几帳面な子、



★

正義感が強い子、内気な子、自信がもてない子などが多いです」

「登校拒否のきっかけは、どのようなことがありますか」

「遊びの中で集中攻撃や暴力行為、精神的苦痛を伴う仲間はずれ、また、勉強についていけないこと、病氣や両親の不仲などの事情で学校を休む日が多くなったり、また、先生のなにげない一言で傷ついて、登校を拒否するなどいろいろなお話があります」

(余談ですが私自身、小学校6年生のときに、担任の先生から疑いの言葉をかけられ深く傷つき、それまで大好きだった先生を信じら

れなくなりました。そのときは学校にも行きたくないと思いましたが、行かなければその疑いを認めたことになると思ひ、通い続けた経験があります。」

「子どもからSOSのサインはありますか」

「必ずあります。学校へ行く前にぐずぐずするとか、実際におなかや頭が痛くなったり、いわゆる自家中毒の症状が出る場合もありますか」



「また学校の話題に触れるといやがるとか、学校の話をしたからなくなりませぬ」

「SOSを感じたら、どう対応すればいいのですか」

「担任の先生や学校関係者に相談することが第一です。家庭だけで解決しようとしなくてください。少しでもサインがあったら、すぐに相談して子どもを指導すること

★

★
「いじめる側からの相談はありませぬ」

「そのことが大変重要なところですが、いじめる側からの相談はありません。いじめっ子の両親は自分の子どもを悪く見ようとしませぬ」

（当たり前の話かな）

「相談後、解決していますか」

「相談者のほとんどが匿名で、追跡状況はわからないのですが、よい解決方法を見いだしているものと期待しています」

これは、相談者のプライバシーを守るため、無理に名前や連絡先は聞かないからで、相談後に解決したとの連絡はまだ無いようですが、それでも何かの役には立っていると思ひます。中には子ども本人から涙ながらに電話がかかってきたこともあったそうです。

「市教育委員会で何か具体策はありますか」

「個々の事情によって解決策は異なります。これといった決め手は無いのですが、いろいろな取り組みを工夫して展開していくことが大切

です。教育委員会としては、先生を対象として、教育相談技術の向上を目的とした研修会、具体的なケースを取り上げた事例研究会、具体的な対策を協議する対策会議などを開催しています。

登校拒否等児童生徒を対象とし



★
てはのびのびと豊かな体験が得られるような自然体験学習や宿泊交流学習を実施しています。

そのほか、教育相談への対応、指導資料の作成配布、家庭訪問の実施などの取り組みを進めています」

「最後に何か良いアドバイスがあれば聞かせてください」

「いじめは、本人の心の痛みによって決まることです。先生や両親は、普段の生活や遊びの中で、子どもの変化を見分けるしつかりした目を持つてください。また、いじめは子ども本人だけの言い分では分りにくい場合もあります。周りに必ず傍観者がいるはず。その傍観者でいる子どもたちからも事情をよく聞き、またその子どもたちに対してもきちんと指導するべきです。一番大切なのは、早期発見、早期指導ということ」

これを機会に市民のみならず、子どもも、逆に関心を持ってほしい方が本当は喜ばしいことなのでしようね、と齋藤参与は話してく

★

「アドバイザーの方々のみならず教職に就かれていた方で、アドバイスの言葉とお礼、見分けるしつかりした目」を持ってカウンセリングをしていくように、今回お話を聞き、私自身、親として身が引き締まる思いがしました。また、2歳児の子連れ訪問でしたが、みなさん温かく迎えていただきありがとうございました。

相談電話

「希望のダイヤル」

☎081255

「いじめ相談」

☎050085

「生きがいダイヤル」

☎081818

行政では、いじめや登校拒否に關して取り組んでいることはわかりました。しかし実際、いじめなどはなくなりません。今の教育現場については、よく知りませんが、学校でも、学習能力や校則に対する指導ばかりでなく、モラル（道徳）やメンタル（精神）面での指導が必要になってきているのではないのでしょうか。

日本国内では、環境問題、高齢化問題、少子化問題、景気回復と問題はたくさんありますが、将来の日本や世界を支える子どもたちのため、早急に教育制度について

見直し、改善を行って欲しいものです。

◆ ◆ ◆
毎日、2歳の息子の育児に振り回されている私は、先日室蘭市で開かれた託児室付きの子育て講演会に行きました。いろいろな講演会で最近よく耳にするのが「近ごろの若いお母さんたちは子育てにとっても熱心」だということ。少子化、核家族化などの理由で、確かにサークル活動、講演会活動などが盛んです。いろいろな理由があるにせよ、まじめにわが子と向き合っているいい傾向だと思ひます。今回の講演会の最後に、今までになく大変印象に残った言葉がありました。「人を愛せる大人をつくる子育てをやっているか！」

恥ずかしながら早期教育に専念していた私は、この言葉を聞いてドキッとしました。私自身、わが子と並んで学ぶことがたくさんあるようです。

人を愛せる人にいじめは無関係のように思ひます。いじめや登校拒否問題は国や行政だけにまかせきりではなく、やはり、家庭での教育が一番大切なのではないかと思ひ、これからは息子を「人を愛せる人」に育てるために頑張ろうと、決意を新たにしました。

★印の写真は、本文と関係ありません。

東 奔



室蘭・登別・伊達三市防災協定調印式



3市防災協定 "締結"

阪神大震災からちょうど1年にあたる1月17日、登別、室蘭、伊達の3市は、災害対策の協力強化などを目的にした「3市防災協定」を調印しました。

今後は、防災研修の共同開催など協力体制の強化、各種訓練や災害時医療体制などの連携、災害に対する応援協力など広域的な対応を必要とする事柄について3市で協力し合いながら調査・研究を進めて行きます。

家庭の味を交流しよう

毎年盛況の「第19回つけものフェスティバル」が1月12日に市民会館で開かれました。市内の72人のみなさんが参加した「つけものコンクール」では審査員が「甲乙つけがたい」と言うほど良い出来のつけものが12点も並び、会場を訪れた300人以上もの市民はおにぎりや豚汁を食べながら出品作品を味わい、交流を深めていました。



第19回つけものフェスティバル

仲間たち

心と体の健康を考える

ヨガサークルらんの会

代表 野口 優さん

(TEL 85 800000)



「健康に関する話も聞いて、知識が増えた」などの声がかれました。

「健康に関する話も聞いて、知識が増えた」などの声がかれました。

「健康に関する話も聞いて、知識が増えた」などの声がかれました。

わたしの趣味

スケート



とりに 鳥居 国一さん
(富士町)

鳥居さんは、冬の間ほとんど毎日、桜木町の青葉スケートリンクに通い続けています。

権太（サハリン）で育った鳥居さんは、幼いころから長靴に雪スケートをつけて滑っていたそうです。小学校でスケートリンクをつくるようになるのと、どうしたら上手に早く滑る事ができるか研究や練習を繰り返して、5・6年生では大会でいつもトップを取るようになっていたそうです。「毎日、朝早く学校に行つては滑り、学校帰りも滑って、スケートばかりやってたな。スケートのとりこだったね」

就職などでしばらくスケートから離れていましたが、何か始めようと思ったときに真っ先に思い浮かんだのがスケートだったそうです。「37年やってなかったから、初めは足がふるえて滑れなかったよ。だんだん体が思い出していったけどね」そのころは、白老のポロト湖に通つ



▲子どもたちと一緒に、さっそうと滑る鳥居さん

ていましたが、6年前に青葉スケートリンクが出来たことを知ってからは、毎日自宅から20分かけて歩いてきて、スケートを楽しんでいます。スケートの魅力は風と雪を切つて滑ること、「寒さで、ほっぺたにつきささるような痛みもいいね」健康管理にもとてもよく、夏は冬に向けてトレーニングもしているそうです。

ある日、スケートでさっそうと滑っている小学生から「おじさん教えてください」と声をかけられ、それから子どもたちにボランティアで教えるようになりました。子どもたちからの信頼も厚く、「子どもたちが伸びていくのを見るのは楽しいね。教えた子どもの中から、将来オリンピック選手が出るといいね」と目を細めて話してくれました。

ゆけむりネットワーク

登別応援団

道産子のわたし



まつが 松本 圓さん(50歳)
(神奈川県川崎市在住)

梶別小学校、梶別中学校を経て昭和35年上京
早稲田大中退後、演劇界へ現在、劇団阿修羅所属
(演出担当)
東京登別げんきかい幹事

このたび登別市教育委員会の主催により、そして市民のみなさん、同窓同級生のみなさんのご援助により、私が演出する「十二人の怒れる男達」が登別市で上演される事になりました。こんな嬉しい事はありません。心から感謝いたします。

私は、15歳の時にふるさと登別を出て以来、東京に住み、「東京人」になろうとしていました。5年前、25年間の演劇生活を考え、意を決して劇団阿修羅を創立したとき、私は何者なのだろう？と思ったのです。「東京人」って何だろう？と。振り返り心に浮かんだのは、来馬岳、オロフレ山の姿でした。そして思ったのです。「私は北海道人なのだ！道産子なのだ！」このことは嬉しい発見でした。「内地人」でない私にはコンプレックスがありました。しかし、私が「道産子」



▲劇団阿修羅上演「十二人の怒れる男達」の一場面。平成8年3月8日登別市民会館にて上演予定。みなさん、是非ご観覧ください。

と自覚したとき、あの朝北の原野を開拓した人々の血が私にも流れているのだと自覚したとき、私は「私の芝居を創れる」と思っただけです。

さて、その芝居がいよいよ上演されます。一人でも多くのふるさとのみなさんに観ていただきたいのです。ふるさとで、みなさんと共に最高の舞台を！

登別郷土文化研究会 宮武 紳一

「札幌本道」登別を通る(2)

人海戦術の難工事始まる

北方ロシアの脅威から「一時も早く北海道の開拓を進めよう」といつても、当時の日本は長い鎖国から目覚めたばかりで欧米諸国に比べ全くの後進国であった。

「欧米に学べ」ということで海外留学生を派遣したが急場の役に立たない。手取り早い方法として先進国から技術者などを雇い入れ近代化を進めるということに

備をなし、車馬道路および鉄道敷設のため測量をして早急に築造すること」と開拓使に進言する。東京・横浜間鉄道開通1年前のこと、鉄道敷設に開拓使も仰天したが欧米諸国では人間・物資・鉱山・森林鉄道の普及が著しい時である。

ケプロンの進言により、鉄道は別にして、我国最初の砂利敷車馬道の建設が計画実施される。

それにしても、当時の室蘭は現在の崎守町(元室蘭)でここは港として適しないので、室蘭湾の奥トツカリモイ(チカ・入江)、現海岸町・緑町に変更したが、今の輪西以西の室蘭半島部は未開の地でヒグマ・オオカミが横行していた。

木曾・鹿児島・南部などから雇われた大工・鍛冶・石工・桶工・建具工・とび人足・運搬夫・土方などの職工、土工夫ら約5千余人が上陸し、分散して港の埠頭つくり、官吏詰所・職人長屋などの家屋や道路の造成を進めていく。

工事は、新室蘭港から米人技師ワーフィールドの測量に従って、うっ蒼たる樹林を伐採し、橋梁を造り、道は鋤・鉄で整地し、土砂は縄を網目に編んだ畚で運び、岩は鑿で掘り火薬で爆破する。

なった。最盛期の明治7・8年には50人以上の外国人が日本政府から給料を貰っていたというが中でもイギリス人が多かった。

北海道開拓使の招待したお雇い外国人はアメリカ45人、清国13人など明治17年(1884年)まで75人でアメリカ人が断然多い。気候条件も適当で、アメリカの大陸的な開拓技術を北海道に取り入れようとの考えもあったようだ。

開拓使次官の黒田清隆が驚別村イタンキから新港予定地へ陸路で行こうとし、案内人のアイヌの人から制止されたが強行し、湿地帯は馬の腹まで埋まり、御崎・母恋で海に面した崖をよじ登り、千古不伐の森林に背丈をこす下草やブドウ・コクワの蔓に足をとられ這いつくばってトツカリモイに午後5時に着いている。驚別村イタンキから、現在の室蘭駅を約1千メートル過ぎた地点まで行くのに1日がかかり。現在では想像もつかない。

指揮役1人に世話人2人、人夫50人をもって1隊(組)とし、各隊は旗幟をたて、人夫は背に開拓使の「開」の字章をつけた絆てんを着て作業にあたらせた。

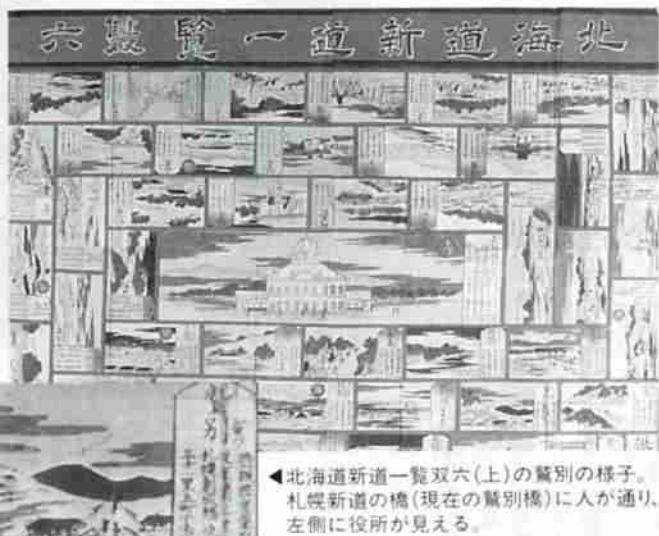
労働は苛酷で、指揮役の組頭は刀を抜いて威嚇し働かせる。

食料は人夫1人1日に麦飯1.5味噌12匁、沢庵2人で1本、梅干3個かラッキョウ3個である。米15匁は多いようだが仕事が大変で1日5食は摂るだろう。

期くして外国人による北海道開拓の先駆けは、明治4年(1871年)アメリカ農務長官の要職にあったホールレス・ケプロンが2人の技術者を同伴し、早速調査にのり出し「首都札幌と室蘭間に道を開くは最大の要件で、速やかに準

先住のアイヌ人家屋2軒に、安政年間(1854年)以降土着した漁師播磨力松の他に定住者の居ないトツカリモイに、東京・伊豆・

さて、登別地方の難所は「幌別川の架橋」と崖に面した「蘭法華坂」の開削であった。



◀北海道新道一覽双六(上)の驚別の様子。札幌新道の橋(現在の驚別橋)に人が通り、左側に役所が見える。



きらり

柔道3大会制覇 そして新たな挑戦

有櫛志保さん

(若草町)

昨年行われた全日本女子柔道体重別選手権道予選(56キロ級)で、登別大谷高校3年生の有櫛志保さんが優勝。高校生活最後の年、高校柔道選手権道予選、インターハイ道予選と3大会(北海道大会)を制覇しました。

進路も、早くから有櫛選手獲得に動いていた、女子柔道界の雄・小松製作所に入社が決まり、新たな目標に向かって、練習に励む有櫛さんに話を聞きました。

柔道を始めたきっかけは

父親が柔道場(誠友館)の師範をしていたので、小学校1年生から父の手ほどきを受け柔道を始めました。

どのような練習をしていますか

自宅の道場で、毎日3時間から4時間、男子相手に投げ込みや、乱取りなどを中心に、得意技の「体落とし」や「逆一本背負い」などの技を磨いています。それから、筋力トレーニングなどもあります。

柔道の魅力は何ですか

厳しい練習に耐えて、試合で勝った瞬間の喜びというのは、なんともいえないですね。

将来の夢は

世界に通用する強い選手になってオリンピックに出場してみたいです。それから将来的には指導者として女の子に柔道を教えてみたいですね。

今年の小松製作所柔道部は、選手育成を考え全国から二人に絞ったということで有櫛さんに対する期待も大きいものがあります。最後にこれからの決意を聞かせてもらいましたが、「練習についていて、いい成績を出せるよう頑張りたいと思います。自分の力をとことん試してみたいです」と力強い言葉を聞くことができました。

これから

は、練習も厳しくなると思います。女子柔道界の頂点を目指し頑張ってください。



▲男子を相手に練習にはげむ有櫛さん

フレッシュな彼女



みぞぐち あい
溝口 愛さん

新川町・21歳 株ナガワ建販勤務

水道管材や建材の販売を行うナガワ建販で、昨年7月から勤務している愛さん。仕事にも慣れ、毎日明るく頑張っています。

仕事について教えてください

経理一般事務をしています。お客様からの注文を受けたり、伝票処理などの仕事をしています。社員のみなさんやお客様もやさしい方ばかりで、毎日楽しく仕事をしています。商品について覚えることが多いので、毎日が勉強ですね。

休日とはどのように過ごしていますか

今はスキーに行ったり、友だちとショッピングに出掛けたりしています。ドライブが大好きなので、夏はドライブするこ

とが多いですね。今年の夏は道東方面へ行きたいと思っています。

登別市についてどう思いますか

生まれ育った街なので、やっぱり住みやすいと思います。高校を卒業してから小樽の短大に行っていたのですが、友だちや近所の人たちなど知り合いがたくさんいますので、登別の方が住み心地がいいですね。

観光地としてもいいと思います。マリナーパークに遊園地ができるので、行ってみたいですね。

登別市にほしいものは

食事をするのが好きなので、もっといろいろなジャンルのレストランがあればいいなと思います。特に、中華料理のお店があるといいですね。

まのらから

建築士のみなさん

応急危険度判定士として ご協力ください

北海道では、地震災害などによる被災建築物からの二次災害を防止するため、応急危険度を判定する技術者を養成する目的で震災建築物応急危険度判定士認定制度を創設しました。

この応急危険度判定士の認定を受けるには、認定講習を受講していただくこととなります。

認定講習は、次の日程で開催されますので、多くの建築士のみなさんが受講されますようお知らせします。

▽場所 室蘭市文化センター
▽日時 2月14日(水) 9時30分～12時(受付は9時から)

講習内容

- 応急危険度判定制度について
- 応急危険度判定基準について
- 応急危険度判定士の認定申請等の手続きについて
- その他

▽受講対象者 道内在住の建築士
▽受講料 テキスト共無料
▽申し込み・問い合わせ (社)北海道建築士会(☎011-111)

下水道(排水設備工事)責任技術者講習会及び配管技能者申請のお知らせ

市は、下水道の排水設備工事に必要な設計や施工に関する知識を取得してもらうため、責任技術者講習会と配管技能者の承認申請の受付を行います。

責任技術者講習会

▽日時 2月27日(火)10時～16時
▽場所 鉄南ふれあいセンター
▽受講資格 下水道課に問い合わせください
▽受講料 無料

▽申し込み期限 2月16日(金)まで
◎配管技術者の資格承認申請

▽申請資格 日本水道協会北海道地方支部が行う配管技工試験に合格し、承認を受けた方

▽申し込み期限 2月16日(金)まで
▽申し込み いずれも下水道課に備えてある申請用紙に記入して申請してください
▽問い合わせ 下水道課(☎9052)

ジャズダンス教室

受講生募集

しんた21(総合福祉センター)では、ジャズダンス教室を開催しています。あなたもジャズダンスでいい汗をかき、ストレスや運動不足を解消して心身共にリフレッシュしてみませんか。

▽日時 毎週金曜日
▽会場 市民会館

午前の部 10時45分～12時
午後の部 18時45分～20時

▽講師 塚田 記久氏・塚田 ジャズバレエワークスタジオ社主

北海道ジャズダンス協会事務局 長て業界の先駆者の存在。現在はイベントの構成・演出・振り付けなど他方面にわたり活躍されています。

▽受講料 1か月 2千500円
▽問い合わせ 保健福祉課(☎01100)

札幌交響楽団室内オーケストラ

ファミリーコンサート

登別市自主文化事業

市教育委員会では、市民のみなさんが気軽にクラシック音楽に親しむ機会を提供するため、札幌交響楽団(指揮・末廣誠)を招きます。おなじみのヴィヴァルディの「四季」をはじめ、バロックやロマン派の名曲をご紹介します。



ご家族でお楽しみください。

▽日時 2月25日(日) 16時開演
16時30分開演
▽会場 市民会館

▽曲目 ヴィヴァルディ「四季」から「春」と「冬」、ヘンデル「水上の音楽」、モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

「交響曲第39番変ホ長調」
▽入場料 前売券一般2千円(当日券2千500円)、高校生以下500円(当日券も同じ)

▽入場券 市民会館、市役所賢別、登別各支所、登別観光協会、及びプレイガイドで取り扱っています

▽問い合わせ 社会教育課(☎1100)

白い粉の密輸

阻止にご協力を!!

2月は、全国一斉の「薬物乱用事犯取締強化月間」です。

「白い粉」に関して目にしたり耳にされた情報を、最寄りの税関へ通報してください。どんな小さなことでも結構です。ご協力をお願いします。

密輸110番
☎0143(2)2219
室蘭税関支署

おわびと訂正

広報のほりべつ1月号の6ページ一般公開は一般質問、10ページ「ゆけむりネットワーク登別応援団」西坂和幸さんは西坂和行さんの誤りでした。おわびして訂正します。

となりまち

ホットライン



NHKプラザ 3周年

記念行事にお越しを

◎メキシコ民族舞踊・インディオの世界展
▽日時 2月6日(火)～12日(日) 10時～16時

▽内容 室蘭出身の陶芸家、絵木のりささんの展覧・制作品の展示

◎プラザ・コラスのひととき
▽日時 2月11日(日) 14時～16時30分

▽内容 コーフレアトル・デ・ペドロ・ロドリゲス・と・ロドリゲス

◎花・とりこ
▽日時 2月17日(土)～18日(日)

▽日時 17時30分(18日は16時30分)

▽内容 生け花の歴史・お正月の華やかさ(伊達市)

◎洞爺村国際彫刻ビエンナーレ入賞作品展
▽日時 2月20日(火)～29日(水) 10時～16時

▽内容 四展の入賞彫刻作品の展示

▽場所・問い合わせ NHKプラザ・室蘭市山手町 電話303611(☎01100)

伊達市

立春の空に舞い上がる

武者大だこを二覧ください
地元商店街の有志で構成されている伊達商工会の「武者大だこ」では、「第4回武者大だこ大会」を次に行います。武者大だこは、伊達市に伝わる大だこ。6羽の伊達の立派な大だこを舞い上げます。この大会は大だこを舞い上げたいお祭りあわせのついでに開催されます。

また、当日は、親子で「上げ大だこ」もあわせて行いますので、オリジナルの大だこをつくって一緒に参加してみませんか。

▽日時 2月18日(日) 10時～14時

▽場所 長浜川河川敷(伊達市橋山下町・国道37号沿い法橋手前上流側)

▽問い合わせ
水越商店(☎0143(2)2641)
伊達商工会(☎0143(2)2219)



うらびようし



冬の海に「えい！」

表紙の写真は、1月15日に行われた日本空手協会登別支部の道場鏡開きでの荒げいの様子です。

道場での初げいこで一汗かいた後とはいえ、この日の幌別海岸は肌を刺すような冷たい風が吹く真冬日。そんな中でも女の子からチビっ子まで元気な気合を響かせ、基本技の練習に励んでいました。

人のうごき

- 人口 57,457(+18)
 - 世帯 22,660(-8)
- ()は前月比

平成7年12月末日現在

鳥名 キンクロハジロ (冬鳥)

観察時期 10月末～3月末



(文・写真提供 自然愛好グループヨシキリの会)
●問い合わせ 洋野さん (☎85-7515)

ボクはキンクロハジロ。潜水の名手なんだ。あまり聞いたことのない名前カモじゃないけど、れつきとしたカモの仲間なんだ。

写真は彼女とのデートの最中に撮られたんだけど、頭にチヨンマゲを下けているのがボク。いつもは5〜6羽のメスを連れて、幌別川をスイスイ。気分は殿様だよ。

ボクのファツシヨンは地味な白黒だけど、目のまわりは豪華な金色。シンブルだけおしゃやれでしよ。

去年の11月にはダム湖で20羽くらいの仲間とのんびり過ごしていたんだ。ほかのカモ君たちも20羽くらい集まっていたよ。

最近では白鳥テラス付近で、潜水することもあるんだけど、カモメ君たちがうるさくて落ち着けないね。

ボクはまた旅立つけど、春、夏、秋とすきて、また冬がきたらみんなに会えるのを楽しみにしているよ。

